



各位

会社名 フィールズ株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 大屋 高志  
 (JASDAQ コード番号 2767)  
 問合せ先 執行役員 社長室長兼 畑中 英昭  
 IR・広報室長  
 (電話 03-5784-2111 (代表))

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 20 年 5 月 14 日付「平成 20 年 3 月期 決算短信」及び平成 21 年 1 月 13 日付「業績予想（個別）の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 平成 21 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

## (1) 連結

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	75,000	10,000	10,000	5,300	15,273.78
今回発表予想 (B)	73,000	2,200	1,300	△ 1,850	△ 5,331.41
増減額 (B-A)	△ 2,000	△ 7,800	△ 8,700	△ 7,150	———
増減率 (%)	△ 2.7%	△ 78.0%	△ 87.0%	—%	———
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	101,818	13,158	11,705	5,296	15,263.76

## (2) 個別

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	50,000	2,500	4,500	3,000	8,645.53
今回発表予想 (B)	52,000	3,600	5,500	1,000	2,881.84
増減額 (B-A)	2,000	1,100	1,000	△ 2,000	———
増減率 (%)	4.0%	44.0%	22.2%	△ 66.7%	———
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	82,758	12,634	12,463	4,153	11,970.60

## [ 修正の理由 ]

### (連結)

連結業績予想の修正の主な要因は以下の通りです。

#### 1. パチンコ遊技機「CR新世紀エヴァンゲリオン～最後のシ者～」の販売時期見直しの影響

PS・フィールドのパチンコ遊技機販売事業においては、平成21年1月13日付「業績予想（個別）の修正に関するお知らせ」の通り、大型タイトルである「CR新世紀エヴァンゲリオン～最後のシ者～」の販売による売上・利益計上を当初第4四半期に見込んでおりましたが、提携先の株式会社SANKYOと販売戦略を協議した結果、パチンコホールの購入意欲がより高い時期に投入することが商品の価値を一層高めるものと考え、本年4月納品とすることといたしました。これにより、売上高が来期計上となり、これに伴う営業利益、経常利益、当期純利益も来期計上となります。

#### 2. ゲーム事業不振の影響

ゲーム・フィールドの主要子会社である株式会社ディースリーにおいては、本日付「当社子会社（株式会社ディースリー）の平成21年3月期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」に記載の通り、世界的な金融不安に伴う景気後退などの影響を受け、国内外でのゲームソフト販売が落ち込んでおり、また、急激な円高もあって通期での為替差損の計上を余儀なくされており、売上高及び収益面につきまして、計画を下回る見込みとなりました。

#### 3. 特別損失の計上

第3四半期において、平成20年12月9日付「子会社の解散及び清算に関するお知らせ」の通り、株式会社シンクアーツの清算に伴う関係会社整理損のほか、投資有価証券評価損等を特別損失として計上いたしました。また、本日付「子会社株式の公開買付け応募に関するお知らせ」に記載の通り、株式会社ディースリーの全株式について、株式会社バンダイナムコゲームスが実施する公開買付けに応募することとしたため、関係会社株式売却損（約3億円）を第4四半期に見込んでいます。そのほか株式市場低迷の影響等による投資有価証券評価損や財務体質強化に向けた諸費用等を特別損失として第4四半期に見込んでいます。

以上により、通期連結業績予想の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益を修正いたします。

### (個別)

個別業績につきましては、平成21年1月13日付「業績予想（個別）の修正に関するお知らせ」に記載の通り、大型タイトルである「CR新世紀エヴァンゲリオン～最後のシ者～」の販売時期見直しの影響がありました。その後、その他のパチンコ・パチスロ遊技機の営業努力による販売強化、経費削減努力等が功を奏し、売上高、営業利益、経常利益を修正いたします。

また、上述の通り、今般の株式会社ディースリーの全株式について株式会社バンダイナムコゲームスが実施する公開買付けへの応募による関係会社株式売却損（約19億円）を第4四半期に見込んでいます。あわせて、平成20年11月6日付「子会社の吸収合併（簡易合併・略式合併）のお知らせ」の通り、平成21年1月に子会社2社を吸収合併したことに伴う合併差損（約6億円）、そのほか株式市場低迷の影響による投資有価証券評価損、財務体質強化に向けた諸費用等を特別損失として第4四半期に計上する見込みであり、その結果、当期純利益を修正いたします。

## [ 期末配当について ]

当社の利益配分に関する基本方針については、当社は企業価値の向上を経営の重要課題と位置づけ、利益に応じた適正な配当を行うことを基本方針としています。具体的には、事業収益やキャッシュ・フローの状況等を基準に決定いたしますが、連結配当性向の基準として20%以上を目指しています。

今般、連結当期純損益は1,850百万円の損失計上となる見込みですが、期末配当につきましては、当初予想通り、1株あたり2,500円（年間配当4,500円）を実施する予定です。

以上

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。